

ケアセンターけやき

症例概要 利用者：80代 女性

利用期間：R5.5～

主病名：①右大腿骨遠位端骨折術後(R6.2月・抜釘)、②右膝変形性関節症

既往歴：高血圧・心筋梗塞

経過：①による右膝痛と歩行困難があり、R5年3月に竹川病院にてリハビリ入院され、在宅生活・定期外出の継続を目標として5月より通所リハビリ利用開始。自宅内での転倒が何度かありましたが、リハビリなどを経て通所リハビリを楽しく利用して頂けるようになった事例を今回は推薦させていただきます。

内 容

R5.5月より、週2回での利用開始となっております。

もともと、出来る事はご自身で行いたいとの意欲が強く、反面、ご自宅での転倒が何度かありました。こちらでの滞在中でも歩行などに対する意欲が強く、リハビリやマシン操作にも精を出されていましたが目標に基づきお考えにより、フロア内を一人で歩こうとされる場面が何度か見られ(当初はスタッフ付き添い対応)、スタッフが介助して下さる事を申し訳なく思われており、今後の利用についても悩まれる事がありました。

アロマセラピー(ハンドケア)をきっかけに、不安や孤独感から開放されて幸せホルモンが分泌され、同テーブルの方々とも触れ合いを通じて考え方が明るくなり、リハビリにも前向きに取り組むようになりました。現在はフロア内もお一人で付き添い無しでも歩けるようになっています。

その後も、様々な事に興味を持たれており、通リハの余暇活動(フットケア・行事レクでのゲーム・外出レク)にも積極的に参加され、楽しめる場面も見られております。

外出レクでは、積極的に行動され職員、ご利用者さんとのコミュニケーションを通じて、とても楽しまれて、ご本人から「童心に帰ったような気持ちになった」と仰っておりました。

私生活でも今まで行けなかった築地市場の買い物へ行くようになり、自分の足で歩ける楽しさを実感されてとても満足されておりました。

これからもご利用者さんにとって、リハビリだけではなく、楽しみを共有出来る時間を増やし通所リハビリでの時間を心豊かに過ごす事が出来るよう、より良いサービスを提供していきたいと思っております。